

ふるさと文化の館 情報

Information.

ふるさと文化の館 ☎72-2120

Museum

Library

卒園児絵画展開催中

2月26日⑩まで「卒園児絵画展」を開催しています。
卒園の記念にご家族でご来館ください。

■開館時間 9:00～17:00

■入場料 無料

リサイクル本市

■日時 2月25日⑨9:00～17:00

■場所 ふるさと文化の館・ホール

図書館で保存年限の過ぎた雑誌や寄贈いただいた本を無料で配布します。

希望される方は当日、会場までお越しください。



ふるさとを離れて半世紀

故郷の思い出は大倉獅子です。小学校3年生の時、私の家は獅子の宿でした。庭固めまでの時間が長く、小学生だった私は、始まる頃にはとにかく眠くなっていました。祖母が一升瓶の酒を持ってきて、私の練習を見ていた記憶があります。以来、上京するまで9年間獅子舞を務めました。昔は「たばこ縄を足に縛り付け、前と後ろで引つ張り、後ろ足を踏んづける」「ササラは土を舐めるような気持ちでやれ」「笛はいつも持ち歩き、野良仕事の合間に練習しろ」などなど厳しかったです。大倉の人々にはこれからも、良き伝統を継承していつてほしいと思います。

現在は畑仕事もしています。生ゴミ堆肥工場の社長さんが「生ゴミの成果が欲しい」ということで、採れた野菜を社長宅へ届けています。素人の私ですが、最近では狙い目の作物を採れるようになりました。堆肥をたくさん入れると甘くておいしい野菜ができます。無農薬野菜なので白菜やキャベツの虫取りが大変ですが、大根・白菜などの漬物や煮物、おひたしなどは、自分が作ったもの思いもあつてか、味も特別おいしく感じられます。

平成14年から2年間、青梅市の『環境基本計画』立案に携わった時に、「蛍は環境保護のパロメーターとしての役割があるので、蛍を復活させよう」との話がありました。調べたところ、青梅にも蛍が生息していることが分かりました。もつと蛍の数を増やそうと、仲間とも相談しました。しかし当初は、仲間も何をどうして良いか分からず、一から勉強しようとして研究を始めました。蛍の餌のカワニナは何を食べるのか、いつ増えるのか、それが分かるまでに4年くらいかかりました。それから蛍を飼うことになり、2年ほど前から水槽の中で幼虫が孵化し、優雅に飛び交うようになりました。今年はおつと蛍を増やし、来年には仲間と自然に放すことが念願です。



大樂 幸一
(大八出身/東京支部)